



高二中だより



「主体的に行動する」「すすんで貢献する」「多様性を理解する」「新たな考えを創造する」

〒175-0082 東京都板橋区高島平 2-24-1

Tel 03(3936)1591 Fax03(3935)6441

板橋区立高島第二中学校

校長 溝口 千里

幸せになるために

2020年コロナ以降耳にするようになった「ニューノーマル」という表現は、2023年4月、The new normal is over. (ニューノーマルは終わった)とも言われるようになりました。しかし、この3年間で身に付いた習慣は簡単には変わらず、多くの生徒がマスクをしたまま学校生活を送っています。土曜授業プランで参観された方はどうお感じになられたでしょうか。

5月土曜授業プランでは、「家族愛・家庭生活の充実」をテーマとした道徳授業地区公開講座を行いました。「特別の教科 道徳」の学習指導要領解説によれば、「家族愛、家庭生活の充実」に関しては、「父母、祖父母を敬愛し、」という共通の出だしに続いて、以下のようなことを教えるとされています。

〔小学校1、2年〕進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。

〔小学校3、4年〕家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。

〔小学校5、6年〕家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。

〔中学校〕家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。

また、小学校「家庭」科(5、6年)には、

〔家庭生活と家族〕

「自分の成長と家族」「家庭生活と仕事」「家族や近隣の人々とのかかわり」

中学校「技術・家庭」科(家庭分野)には、

〔家族・家庭と子どもの成長〕

「自分の成長と家族」「家庭と家族関係」「幼児の生活と家族」

という項目もあります。

「家族と一緒にいてよかった」と感じるのはどんなときでしょう。なぜ「家族は大切だ」と感じられるのでしょうか。「家族愛」

と一口に言っても現代は家族の形態も様々なため、思い描くことも様々かもしれません。

家族を大切に感じるのは「家族は無私の愛(無条件の愛)」を注いでくれるからです」と講師にお呼びした柿沼治彦先生はお話されました。



「家族の無私の愛がどれだけ人を幸せにするか、その愛を感じると、今度は自分が相手を大切にしたいと思う。中学生にもなれば、家族から受けた無私の愛を今度は親や祖父母などに返すことができる。無私の愛を注ぎ注がれることが人を幸せにしてくれます。授業を通じ、子どもたちにそういうことに気付いてほしい」と話されました。

「血が繋がっていなくても、ペットでも、相手は家族でなくても、無私の愛を注げば、相手がわかってくれます。究極はそれを人類愛につなげたい。」「自分のことがちゃんとできないと他人のことを思う余裕は生まれません。家族愛の基には「思いやり、感謝」があり、家族愛の外側には「家族ではない回りの人への愛」⇒「身の回りにはいない他人への愛」と広がっていき、例えばウクライナの人に対してであったり、例えば性同一性障害の人に対してであったりして、究極の人類愛へとつながり、世界平和につながっていきます。それを子どもたちに教えなければいけません。」と続けました。

誰にとっても愛を注いで伴走してくれる人がいるとことが大事なのかなと感じます。子どもにとってのいちばんの伴走者は保護者なのではないでしょうか。これを機会に家族の絆が深まる小さなアクションを起こしてみたいかがでしょうか。



<https://onl.bz/CLrY685> ↑

学校 HP[学校日記]もご覧ください。

令和5年度「体育祭」情報！ 令和5年6月3日（土）

【実施日】

- ・6月3日（土）9時20分～15時（給食なし、弁当持参） ・振替休業日 6月5日（月）

【雨天順延のスケジュール】

- ・6月3日（土）が雨天の場合、6月6日（火）に延期
- ・6月6日（火）が雨天の場合、6月7日（水）に延期
- ・6月7日（水）が雨天の場合、今年度の体育祭は中止



【競技内容】

- ・全員種目・・・ラジオ体操
- ・団体競技・・・7年：全級リレー・台風の目、8年：全級リレー・中縄跳び、9年：全級リレー・大縄跳び
- ・個人競技・・・100m走、障害物走、学級対抗リレーのうち、いずれか1種目に出場

【お願い】

- ・各家庭の見学人数には制限は設けておりません。各自、体調管理をされ、密を避け観戦をお願いします。
- ・今年度より、体育祭への**自転車での来場を禁止**とさせていただきます。PTA 廃止に伴う自転車置場での誘導等の仕事の削減及び、生徒のトイレ使用時の動線確保が理由となります。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。なかよし通りや近隣への駐輪もご遠慮ください。

「小中合同コミュニティ・スクール委員会」兼「学びのエリア幼小中合同教員研修会」

今年度は新たな試みで、「コミュニティ・スクール委員会」と幼小中教員による「学びのエリア研修」を兼ねた会を企画しました。

熟議では、高島幼稚園、高島第二小学校、高島第二中学校の教員とSSW、高島第二小学校CS委員、高島第二中学校CS委員、総勢50名超のメンバーを9つのグループに分け、また、教育委員会「地域教育力推進課」の職員にも特別参加していただきました。



熟議のテーマは以下の通りです。

- 【学習指導】の分科会メンバー・・・研究主題の「持続可能な社会の創り手となる子どもの育成」に必要な学習活動について
- 【生活指導】の分科会メンバー・・・研究主題の「持続可能な社会の創り手となる子どもの育成」に必要な生活指導のあり方について
- 【特別活動】の分科会メンバー・・・研究主題の「持続可能な社会の創り手となる子どもの育成」に必要な学級活動、生徒会活動、学校行事の工夫について

CS委員からは「管理職以外の普段あまり話したことの無い先生方と触れ合えてよかった」、また教員からは「学校外の方の見方を聞いて視野が広がった部分があった」という意見がありました。

話し合いの記録と発表にはミライシードのムーブノートを利用してみました。小グループならではの活発な話し合いであったという間に時間となり、たいへん中身の濃い熟議となりました。

令和5年度コミュニティ・スクール委員（敬称略）

- (ICS委員長、元PTA会長)
- (高島平二丁目町会長)
- (高島平二丁目団地自治会長)
- (高島平地区小地域ネットワーク代表)
- (民生・児童委員)
- (地域コーディネーター)
- (地域コーディネーター、元PTA会長)
- (元PTA会長)
- (地域コーディネーター)
- (高島第二小学校長)
- (高島幼稚園長)

教職員紹介

副校長補佐 5月1日着任
(区会計年度任用職員として新規採用)

【高二中だより バックナンバー】

二次元コードを読み込むと
こちらから閲覧できます⇒

